

# かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 19 No 12

221号

平成23年12月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## 子育て支援功労者内閣府特命大臣表彰 院長

今年は、本当にいろんなことがありました。1月に「仙台市医師会学術奨励賞」、8月は「日本外来小児科学会優秀演題賞」、10月には半生を語った「教育講演」、そして11月の「子育て支援功労者内閣府特命担当大臣表彰」と、二度あることは三度ある以上に、たくさんことができました。もちろん忘れてはならない、3月11日の東日本大震災が最大の出来事でした。

例年、12月のテーマは「今年を振り返って」ですが、今年は「子育て支援功労者」についての報告です。

思い出してみると受賞6ヶ月ぐらい前、仙台市子育て支援課小林課長から一本の電話、「先生の子育て支援の取り組みまとめてもらえませんか」と。理由はと聞くと、「課内の資料とするので」ということで資料提出。11月初旬に課長から、「功労者表彰が内定しました。表彰式は官邸で」の電話をもらい、嬉しさで鳥肌が立ったのは生まれて初めて。ご存知のように自慢しがりの性格なので、話したくて話したくて。でも課長から「くれぐれもオフレコで」の理由から、我慢の日々が続きました。11月中旬に内閣府から正式な通知が。これで胸を張って、皆さんに伝えることができるように。Twitterをフォローしている人はご存知のように、情報を小出しにしながらの自慢の連続攻撃。

さて、ここからは表彰式とちょっとした裏話を。表彰式は平日でしたが、総理官邸で行われる賞の重さ、もちろん「今回逃したら一生行くことはない」との判断で、休診を決意。突然の休診で、皆さんにはご迷惑をおかけしました。帯同者は2名までのため、家内と娘も同行することに。当日は新幹線で東京へ。内閣府からは普通席一人分のみの支給、気分よく向かうためにグリーン車へ変更。集合場所は内閣府講堂、はじめて知ったことだけど庁舎にはタクシーが乗り付けできない。近くで降りて歩かなければならない妙な気分。12:00から講堂で昼食、お祝いの赤飯弁当。表彰だからと特別と期待してたけど、冷たいし、ちょっと裏切られた気分。

食事の後は、式次第の説明と官邸での注意を。官邸はカメラ持ち込み禁止と聞かされ、顔から血が引いていくような気分。ここからが裏話。受賞したのは内閣府特命担当大臣表彰、大臣はご承知のように蓮舫さん。せっかくだから是非とも蓮舫大臣とツーショットをと。と言っても、まさか当日お願いする訳には。よしとばかり民主党繋がりを利用するしかない、待合室に飾ってある写真の郡和子衆議院議員に電話を。郡さん「大丈夫、よく知っているので先生の希望が叶うように連絡しておきます」と、快い返事。



集合写真（中央が野田総理、右が蓮舫大臣。さて院長は？）

やはり持つべき友は国会議員かも。説明を受けた後、ほどなく内閣府の担当者があいさつに。「大臣と写真を取れますので、式典終了後別室に案内しますので」と。もちろん表情は変えず、「やった～やった～」と何度も心の中で叫んでた。



蓮舫大臣（顔小さい）とツーショット

内閣府から徒歩で首相官邸へ。繋がっている訳ではなく、普通に道路を徒歩で5分ぐらい。官邸は警備員が多く、やはりチェックが厳しそう。我々は内閣府の職員の先導なので、基本的にはフリーパス。ガラス張りの官邸は、庭も含めて、美しい。車寄せがあったけど、一般人には無縁のもの。「いつか...」とも思わなかった。表彰式は官邸大ホール、カメラはもちろん、コート、バッグ類もすべて持ち込み禁止。

ホールでは、まずはリハーサル。式次第だけでなく、表彰状の受け取り方、礼の仕方、ずっと昔の卒業式を思い出した。いよいよ授賞式の始まりと思いきや、野田総理の姿はない。総理が隣席しないレベルの賞なのかと、少々がっかり。蓮舫大臣の挨拶から授与式の始まり、挨拶は表彰の意味、受賞者への感謝と慰労の言葉。続いて表彰状の授与。内閣府特命担当大臣表彰は「子ども・若者育成支援部門:16件」と「子育て・家族支援部門:13件」に分かれ、団体や企業の受賞が中心で、日本赤十字社、兵庫県看護協会なども。受賞したのは「子育て・家族支援部門」で、個人は2名、全体でも小児科医(医師)は一人だけ。受賞の順番は個人ということもあり一番最後、しっかり蓮舫さんの記憶に焼き付けることが。内閣総理大臣表彰もあつたはずだけど、しかしながら総理の姿はない。ふっとした静寂のあと、ただいま総理がお着きになりましたと、アナウンス。ほどなくSPと一緒に野田総理が入場。総理はそれほど偉いのか、もったいを付けているのか。すぐさま内閣総理大臣表彰(4件)の授与がはじまり、野田総理から受賞者全員への感謝と慰労の言葉で、表彰式はすべて滞り無く終了。

表彰式終了後に内閣府の担当者が「先生、蓮舫大臣との写真撮影のため別室にご案内いたします」と。別室に入るとすぐに蓮舫大臣が現れ、簡単な挨拶を交わした後、家族揃って写真撮影を。大臣相手でも、臆面もなく、お決まりのポーズでTwo Shotを。郡さん、蓮舫さん、ありがとうございました。Twitterのフォロワーの皆さんへの一言。内閣府からの「授賞式後のスケジュールの確認」は取らぬ狸ではなく、実は蓮舫大臣とのTwo Shot写真を見越してのことで、ちゃんと狸をの皮をゲットできました。最後に、無事に還暦を迎えることができ、大きな表彰を授与され、そして蓮舫さんと写真を取れたも、自分だけでできたことではなく多くの方々のお力添えのおかげです。そして受賞のもととなった半生に渡る子育て支援活動を、赤ちゃん時代の写真を使って講演出来るほどの日本一幸せな小児科医かもしれません。ホント皆さんのおかげです。ありがとうございます。これからも、どうぞよろしく願いいたします。

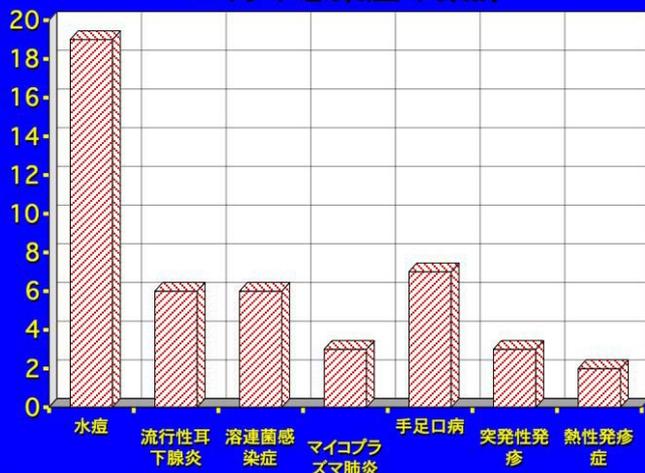
『がんばろう！宮城 がんばろう！日本』  
“みんなでやれば、大きな力に”

## 読者の広場

先月は19通のメールを頂きました。子育て支援功労者表彰に関するものを紹介します。まずは宮城野区の矢古宇さんから「11月22日、いい夫婦の日で奥さんとデートするから休診なんだあ。川村先生ロマンチストだなあ～なんて勝手に想像してました。総理大臣官邸で表彰されるなんて、凄いです。おめでとうございます」。平日休診というだけで、いろいろな憶測を呼ぶのですね。ありがとう。続いては中国の會田さんから。「かわむら先生。ご受賞おめでとうございます!! 日ごろの努力が報われますね ^ ^ v。今年は先生も看護師の皆さんも、例年以上にかなりハードな1年だったことと思います。その中でも定期的にメールを頂き、こまめに情報公開をして頂き、メールが届くたびにほっと安心感を感じておりました。また、私事になりますが、来年春先には本帰国となりそうで、皆さんにはまた何かとお世話になることと思います。どうぞ宜しくお願い致します。こちらはまだ暖かい日もありますが、インフルエンザの予防接種も始まりました。やはり衛生環境は良くありません。習慣や考え方の違いももちろんありますし、子供達の同級生の多くは韓国人ですから日本人ほど神経質ではなく、通学バスや教室で感染してしまうのです。英語圏の先生からも「教室ではマスクを外して」と言われてしまいます。今接種すると2月前には効果が切れてしまうのでしょうか、流行る前に打たないと感染してしまう危険性もあり、結局早めの接種となってしまいます。ちなみに、日本製のワクチンはアメリカやヨーロッパ製ワクチンの3倍ほどの金額、子供に関しては、2回打つと6倍の金額になってしまうのです。どうしてこんなに金額に差が出るのでしょうか。効果の違いもよく分かりませんし、。雑談になりました。年末・新年に向けて先生もスタッフの皆さんもどうぞお体にお気をつけて! それでは、再見(サイゼン:さようなら)!。ありがたいですね。震災の時にも遠い中国から心配とお見舞いをいただきました。日本では外国のワクチンが高価なんですけど、どうしてなのでしょう。帰ってくるの、楽しみに待っています。もう一通は宮城野区の永野さんから「かわむら先生、いつもありがとうございます。永野心結の母です。今日も発熱でお世話になりました。今日受診の時に、先生に受賞のお祝いの言葉を...と書いていたのに、お話できずにきてしまい失礼してしまいました。心結も、テレビをみたことを先生に話すまで張り切ってたのに話せず...がっかりしてました(笑)。メールの場をおかりし、先生、本当におめでとうございます。どうぞ明日はお気をつけて行っていらっやっってください。こんな気弱な親子ですが(笑)これからもよろしくおねがいいたします。」。嬉しいメールですね。なかなかその場になると伝えることができないと言うこと、ありますよね。その気持ちだけで、充分です。気弱な親子だからこそ、支えてあげなくちゃならないのです。ありがとうございます。



## 11月の感染症の集計



水痘とおたふく(流行性耳下腺炎)が増加していますが、先月からは減少、溶連菌は横ばいの状況です。マイコプラズマ肺炎は3人ですが、診断が難しいため正確な人数は不明です。全国的には例年と比べ多くみられています。グラフに示していませんが10月のインフルエンザは4人でしたが、先月は28人と増加しています。学級閉鎖や学年閉鎖もありますが、仙台市全体としては、まだ大きな流行はありません。RS感染症も目立ち、結構重症感があり入院を必要とすることもあります。

## Mail News, Twitter, Blog の紹介

Mail News は、震災を切っ掛けに370人を越えるお母さんが登録しています。右上のバーコードから「登録希望」と登録者、お子さんの名前を送信してください。携帯用HP(左のバーコード)でMail NewsとTwitterも読めます。両方で情報を提供していました。Blog(右下バーコード)では、東日本大震災の取組み・活動、放射能やワクチンの話題を提供しています。是非お読みください!



- ・年末年始休暇  
12月30日(金)～1月4日(火)  
変更の場合もありますので、ご注意ください。  
院内掲示、Mail Newsを!
- ・学生実習  
9日(金) ご協力を!
- ・栄養育児相談  
7、21日 栄養士担当  
参加無料



## 予防接種のお知らせ

### インフルエンザワクチン接種開始

13歳未満2回 13歳以上1回

料金(1回) 3150円(消費税込)

今年は従来通りの任意接種に戻ります。接種量が変わり3歳未満0.25cc、3歳以上0.5ccとなります。また今年は国家検定を通らなかったワクチンもあり、接種量が増えたことと相まって、ワクチンが足りなくなる恐れがあります。

接種は10月下旬からですが、早めの予約をお願いします。

## 『お母さんクラブ』のご案内

### 「クリスマス会」

12月15日(木) 14:30～ 福沢市民センター 会費500円

いよいよ一番人気のクリスマス会です。歌あり、踊りあり、クイズ、そしてゲームあり。1年で溜まったものを、楽しい時間とともに童心に帰って、しっかり洗い流しましょう。参加の皆さんも出し物を考えてきてくださいね。参加人数に限りがあるため、必ず電話かメールで参加申し込みをお願いします。過去の『お母さんクラブ』の会員を優先しますので、ご了承下さい。

### 編集後記

先月は赤ちゃん時代の写真を使っ  
ての半生の仕事の紹介。その仕事＝  
子育て支援活動が評価され、今度は  
夢にまで見た総理官邸で、総理大臣  
隣席のもと、蓮舂内閣府特命大臣か  
ら直接表彰状を授与。運が良いとか  
の問題ではなく、本当に幸せ者です。  
今年もいつの間にかに師走を迎え  
てしまいました。今年一年お世話に  
なりました。皆さんもよい御年を!



『お母さんクラブ』は、9月から再開再開しました。楽しいことも大切です。是非ご参加を!!

震災でのクリニックの対応・院長の取組み・患者さんからのメール・被災状況は、Blog「こどもクリニック四方山話」で!!